

報道関係各位

2020年9月30日
第一園芸株式会社

～安心して寛げる屋外のリラックススペースを展開～
**第一園芸の空間装飾ブランド「OASEEDS（オアシズ）」が
横浜ベイクォーター『グリーンオアシス』をデザイン・施工**

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：伊藤昇、三井不動産グループ）の空間装飾ブランド「OASEEDS（オアシズ）」は、横浜駅東口のショッピングモール「横浜ベイクォーター」3階メイン広場の期間限定装飾『グリーンオアシス』の空間デザインと施工を手がけました（2020年10月31日（土）まで展開予定）。



今年は新型コロナウイルス感染症の流行に配慮し、安心してお寛ぎいただけるリラックススペースを作りたいとの意向を受け、デザイン・施工いたしました。

飲食店内やテラスからも眺められる豊かな木々の緑を、白い船形の植樹帯と、海をイメージした青のアクセントカラーで彩り、お客様のオアシスとなる開放的な空間にデザインいたしました。

毎日16時から上空のイルミネーションが点灯。秋の夜風に吹かれ、きらめくイルミネーションと目の前に広がる水辺を眺めながら、ゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

■デザインのポイント

① 船形の植樹帯



客船をモチーフにデザインされた横浜ベイクォーターから着想を得て、八角形の白い船形の植樹帯を設置いたしました。

② 木陰をつくる豊かな植栽



オリーブやシマトネリコなどの豊かな緑の組み合わせにより日中でも木陰が生まれ、ベンチや芝生でリラックスしてお過ごしいただけます。

③ 愛犬フोटスポット



※イメージ

ペットと一緒に買い物を楽しめる施設であるため、愛犬を可愛く撮影できるサーフボード（L890×W350）をご用意しております。ぜひフोटスポットとしてもご利用ください。

④ 上空のイルミネーション



毎日 16 時から 23 時まで、イルミネーションが上空に点灯します。秋の夜風とともに、きらめく夜空をお楽しみください。

<空間デザイナー・中山潤子のコメント>

コロナ禍で外出や人と会う場所に配慮をしなければならない今、屋外でも居心地がよく過ごしやすい空間を提供できればと思い『グリーンオアシス』をデザインいたしました。

お買い物の休憩がてらご家族やペットの写真を撮って楽しんだり、テイクアウトしたフードやドリンクを片手に夜景を眺めるのもおすすめです。適切な距離を保ちつつ、開放的な気持ちでお寛ぎください。

■『グリーンオアシス』装飾概要

期間：2020年8月21日（金）～2020年10月31日（土）

イルミネーション点灯時間：16:00～23:00

※荒天の場合等、期間中であっても予告なく撤去することがございます。

■施設概要

施設名：横浜ベイクォーター

所在地：〒221-0056 横浜市神奈川区金港町1-10

URL：<https://www.yokohama-bayquarter.com/>

■「OASEEDS（オアシーズ）」

第一園芸株式会社の環境緑化・空間装飾ブランド。

商業施設やオフィスビルの屋内外の環境緑化、空間に応じたコンセプトの企画とデザイン、植栽や装飾の施工と維持管理、メンテナンスまでをワンストップで提供しています。

ブランドサイト：<https://www.daiichi-engei.jp/oaseeds/>

■第一園芸株式会社 概要

所在地：東京都品川区勝島1丁目5番21号 三井物産グローバルロジスティクス勝島20号館

代表者：代表取締役社長 伊藤昇

創業：1898年（設立1951年）

資本金：4億8千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

URL：<https://www.daiichi-engei.jp/>

■三井不動産グループのSDGsへの貢献について

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）を意識した事業推進、つまりESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）の目標11「住み続けられるまちづくりを」に貢献しています。

